

令和7年度 事業報告

令和7年度は、入居者 100 名から開始することができ、直接処遇職員が安定して充足していたことで、スムーズな入退所が行えるように努めました。入居者一人一人の意向を尊重したケアを行い、当年度退所者34名のうち、施設での看取りケアを希望され 12 名の方を看取りしております。

施設入所を希望され待機されている方のスムーズな受入れを行っていましたが、特に冬場は待機者の都合や調整がつかずに入居者の受入れに時間を要することがありました。

物価高騰のため消耗品等の値上げが多く、茂庭苑と取扱い業者の情報提供を受け、その他購入時に他社と価格比較し、商品購入を行いました。

新型コロナウイルスやインフルエンザ対策につきましては、感染対策に配慮することで入居者の感染者が出ることはありませんでした。しかし、疥癬感染が9月に発生し一度収束しましたが、1月に再燃し3月の終息まで感染対策の長期化によりユニット内の制限を行いました。ユニットを超えての蔓延は予防することができ、他ユニットの面会などは毎日予約なしに実施することができました。

今後は、退所者が出た場合には、すみやかに入居して頂けるように入居決定者と更に連携して退所から入居まで日数を空けないよう努め、利用率の向上を図っていきます。

【目標値及び実績】

サービス事業所名	目標値	実績
特別養護老人ホーム 第二茂庭苑	98%	97.7%

【介護保険事業収入】

(単位:千円)

サービス事業所名	予算額	決算額
特別養護老人ホーム 第二茂庭苑	386,818	391,462

*補助金・各助成金除く

【 防災対策、及び避難訓練 】

実施日	内 容	参 加 人 数		
		入居者	職 員	合 計
R7.7.22	机上訓練（華ユニット）	0	10	10
R7.7.29	机上訓練（月ユニット）	0	9	9
R7.7.25	机上訓練（川ユニット）	0	9	9
R7.8.1	机上訓練（紅ユニット）	0	8	8
R7.8.5	机上訓練（笹ユニット）	0	10	10
R7.10.16	総合防災訓練（日中想定）	100	28	128
R7.11.19	総合防災訓練（夜間想定）	100	15	115
R8.3.1	机上訓練（華ユニット）	0	11	11

【 資格取得状況 】

資 格 名	人 数	資 格 名	人 数
介護福祉士	45 名	看護師	4 名
主任介護支援専門員	2 名	准看護師	0 名
介護支援専門員	4 名	柔道整復師	1 名
社会福祉士	4 名	ユニットリーダー研修修了者	7 名
社会福祉主事	7 名	介護職員実務者研修修了者	4 名
管理栄養士	2 名	介護職員初任者研修修了者	3 名

*重複資格含む

財務活動

【 主な固定資産物品等の購入 】

(単位:円)

物 品 名	金 額	物 品 名	金 額
ノートパソコン	205,700		
リクライニング車椅子	159,320		

【 主な工事 】

(単位:円)

工 事 名	金 額	工 事 名	金 額

*費用の発生する工事はありません。

【 水道光熱費・燃料費使用状況 】

年 度	令和 7 年度		令和 6 年度	
項 目	使用料	金額 (円)	使用料	金額 (円)
電 気	1,105,280kw	33,303,859	938,818kw	28,185,071
水 道	9,506 m ³	6,584,997	6,515 m ³	4,340,833
合 計	-	39,888,856	-	32,525,904

【 機器などの保守点検及び清掃委託 】

月	保 守 点 検 及 び 清 掃		
4月			
5月	・電気保安業務点検		
6月			
7月	・電気保安業務点検 ・グリストラップ清掃		
8月			
9月	・電気保安業務点検 ・消防設備保守点検 ・害虫駆除		
10月			
11月	・電気保安業務点検		
12月			
1月	・電気保安業務点検 ・グリストラップ清掃		
2月	・水質検査		
3月	・消防設備保守点検 ・二年目点検 ・害虫駆除		
毎月	・エレベーター点検 ・日常清掃(共用部)		

【 外部研修 】zoom 研修確認

番号	実施月	研 修 名	参加数	主 催
1	6 月	給食施設衛星管理研修会	2	仙台市保健所太白支所
2	9 月	消防技術研修会	2	太白消防署
3	9 月	介護支援専門員更新研修(11月まで)	1	宮城県ケアマネジャー協会
4	12 月	介護支援専門員実務研修会(3月まで)	1	宮城県ケアマネジャー協会

特養介護部門

1. 入居者様、ご家族の意向を確認、想いを尊重しながら、施設サービス計画書を作成します。計画のもと個別ケアを実施していき、カンファレンス、ケアの見直しを定期的に行い、ケアの充実に努めてまいります。
→各サービス計画書(施設、個別機能訓練、栄養)に基づいたケアを日々行いました。また、ご本人やご家族からの満足度等を確認し、ご意向に応じたケア内容を定期的見直すことで、個別ケアの充実に努めました。
2. 入居者様のプライバシー保護、生活リズムに合わせた暮らし方を重視します。在宅に近い環境を整えることで、家庭的で過ごしやすい空間を維持します。ユニットごとに、入居者様が相互に社会的関係を築き、スタッフと入居者様の間でも良好な関係を構築します。
→面会や外出外泊に関しましては、感染症の影響がないフロアでは、制限をかけずにご希望に合わせて毎日実施することができました。また、個室環境を活かしてのプライバシーの保護や、皆様それぞれの生活リズムに合わせた暮らしが送れるように、個別ケアの提供等は柔軟に対応いたしました。また、活動ではユニットごとに企画するなど、家庭的な雰囲気生活が送れるように工夫をいたしました。
3. 感染症や自然災害に対しての整備、研修などを通して、緊急時の体制を整えます。感染症発生時には感染拡大を最小限に抑えられるよう感染対策を実施し、短期間で通常時の事業再開を目指します。
→疥癬発症時には、対象となるユニットのみを一時閉鎖するご協力をいただきました。感染の拡大防止、早期終息に努め、施設全体に感染を拡大させることは一度もなく予防が図れました。感染症に関しての研修やシミュレーション訓練を年二回実施し、職員一同が高い意識をもちながら予防の徹底に努めました。
4. 科学的介護情報システム（LIFE）のフィードバックを活用し、個別機能訓練・栄養ケア・口腔ケア、褥瘡防止などの技術向上と多職種連携を目指します。また、認知症の種類に応じたケア向上を図り、利用者の自立支援、重度化防止を目指します。
→研修やカンファレンス等を通して、入居者様それぞれの状態に応じた対応方法を検討し、自立支援、個別ケアに繋がるように、各職種が連携を図りながらケアを実施いたしました。

5. 各委員会や研修などを通して人材育成の強化に日々努めます。質の高い介護サービスと第二茂庭苑ならではのサービスを提供していきます。
- 法定研修、階層別の研修を開催いたしました。全職員が参加できるように、オンラインや録画を通して、参加率の向上、自己研鑽に繋げることができました。
- また、委員会においては、毎月の定期開催により、課題事項の情報共有と把握、検討、各職種が連携を図りながら、よりよいケアの実現と継続を目指しました。
6. 看取り期では、ご本人とご家族の想いを尊重しながら、医師や看護師など各職種との連携を密に図り、ご意向に沿った看取りケアを実施していくことで、その方らしい終末を迎えることができるように支援いたします。
- ご本人、ご家族の同意のもとで、今年度は入居者様12名の看取りケアを実施いたしました。ご意向に添った個室環境を提供し、状態の変化にきめ細かく対応ができるように努め、ご本人やご家族に寄り添ったケアが提供できました。
7. 施設入所では、ご本人とご家族の意向を確認しながら、仙台市の優先入所基準に基づいて決定し、新規入居を円滑に進められるようにします。
- ご本人やご家族等の意向をしっかりと確認し、申し込みから入居までの期間を短縮できるように、各関連事業所との連携、調整に努めました。
8. 新たな加算取得に向けて体制を確保し、収益確保を図ります。
- 職員配置やツールを活用し、体制の構築により加算要件を満たし、段階的に新たな加算を取得することができました。

【 利用状況 】

項 目	内 容	
期 間	令和7年4月1日～令和8年3月31日	
延べ 利用日数	35,656 日	
平均 利用率	97.7%	
要 介 護 度	利用日数	比 率
要介護1	1,782日	5.0%
要介護2	959 日	2.7%
要介護3	16,668日	46.8%
要介護4	9,517 日	26.7%
要介護5	6,730 日	18.8%

【 要介護状況 】

令和 8 年3月31日時点

性別 要介護度	男 性(人)	女 性(人)	合 計(人)
要介護 1	1名	2 名	3 名
要介護 2	1名	1 名	2 名
要介護 3	11 名	34 名	45 名
要介護 4	6 名	25 名	31 名
要介護 5	2 名	15 名	17 名
計	21 名	77 名	98 名

【 性別・年齢別状況 】

令和 8 年3月31日時点

	～65	65～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	100～	計
男性	2	1	3	2	3	5	2	3	0	21
女性	1	3	1	7	14	18	19	13	1	77
計	3	4	4	9	17	23	21	16	1	98

	最高年齢	最低年齢	平均年齢	全体平均
男性	98	51	81.5	85.8
女性	103	64	87.0	

【 3月末 入所申し込み者内訳(合計: 21 件) 】

病 院	4 名	老人保健施設	5 名
ショートステイ	2 名	グループホーム	1 名
在 宅	6 名	その他	3 名

【 令和 7 年度入退所状況 】

(単位:人数)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入 所(人)		1	2	3	1	1	2	3	2	5	1	7	4	32
内 訳	(病院)	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	1	2	7
	(他施設)	0	1	1	0	1	0	2	1	4	1	4	2	17
	(在宅)	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	5
	(ショート)	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
退 所(人)		2	1	3	1	1	3	3	4	3	6	3	4	34
内 訳	(死亡)	0	0	2	1	0	2	2	4	1	4	2	3	21
	(長期入院)	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	6
	(その他)	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	7

【 令和 7 年度 行事・余暇活動 活動実績 】

	行 事 ・ 外 出 等
4月	・開所記念 ・お花見御膳 ・お花見ドライブ
5月	・母の日感謝会 ・こどもの日献立 ・こいのぼりクレープ
6月	・父の日感謝会 ・ピザトースト作り
7月	・七夕メニュー ・秋田県郷土料理 ・金魚鉢ゼリー
8月	・夏まつり ・スイカ割り ・お好み焼き作り ・焼きそば作り
9月	・長寿を祝う会
10月	・茂庭台市民センター文化祭(作品展示) ・芋煮会 ・スポーツの日献立 ・総合防災訓練 ・ハロウィン献立
11月	・鮭のホイル焼き ・紅葉狩り ・鱈とお芋のホイル焼き
12月	・ゆず湯 ・冬至かぼちゃ ・クリスマス会
1月	・お正月行事 ・おしるこ作り
2月	・節分 ・バレンタイン献立
3月	・雛祭り ・桜食スイーツ ・お好み焼き作り ・ぼたもち作り

看護業務

R7 年度年間目標

入居者様のそれまでの暮らしが継続できるように、安心できる生活支援を目指す

1. 入居者様一人一人に対して個別ケアを行い、その人らしい生活が営めるように支援します。

→R7年4月～R8年3月の間、入院治療が必要となった入居者の対応22名、施設での看取りケアとなった入居者の対応12名と、個別的な健康管理の提供・その人らしい最期の生活支援の提供を行うことができました。

2. 他職種との連携を図り、入居者様の健康管理に努めます。

→第二茂庭苑開設2年目、介護士・看護師間ほか栄養士・相談員など他職種との連携に努めました。また、看護師が窓口となり委託クリニック(ないとうクリニック)、仙台デンタルクリニック、あおい杜在宅歯科クリニック、宮城結核予防会、仙台市保健所窓口など多岐にわたる医療機関との連携・体制作りに尽力しました。結果、1年に1回の無料歯科検診、1年に1回の入居者健康診断、毎週火曜日の委託クリニック往診、毎週金曜日の仙台デンタルクリニック歯科往診を開設時から継続して提供できており、入居者様の健康管理に繋げることができました。

3. 研修や勉強会を通して感染対策に努め、入居者様と御家族の面会が継続できるように目指します。

→看護師企画の研修、5月にコロナシュミレーションを実施、9月に介護士との共同企画研修、「リスクマネジメント異常の早期発見」を実施しました。また、R8年3月感染対策研修を企画・実施しました。施設スタッフ共通研修、Dスタを毎月行い知識向上に努めることができました。

感染対策においては、9月一部のユニット内で疥癬感染が発生し入居者9名職員1名が陽性となりました。前年度の疥癬感染発生時の対応を基盤に、基本的な標準感染対策の徹底を行った結果、12月には一度感染収束することができました。しかし、R8年1月同ユニットから2名の疥癬感染者が発生しました。2度の疥癬感染発生と感染対策の長期化で対象ユニットの面会制限が余儀なくされました。今回、第二茂庭苑開設時から毎年発生する疥癬感染を重く受け止め、施設内のみで対処するのではなく、仙台市保健所との連携・助言・協力を受けながら原因検索および正しい感染対策の見直しを行いました。

① 入所者保健衛生実施状況

(単位:人数)

実施内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	毎週 火曜日	41	45	36	43	36	76	46	40	77	46	18	47
歯科検診		100	14	10	10	5	4	11	1	3	2	3	
歯科往診		21	23	33	17	19	20	29	22	24	24	11	21
血液検査		4	20	31	17	18	57	54	47	31	31	12	24
体重測定		100	99	97	99	99	98	97	96	97	94	94	100
予防 接種	利用者								93	23			
	職員							75					
備考	※新型コロナワクチン希望者:12・1月実施 インフルエンザワクチン 10・11月実施												
	※定期健康診断95名実施 ※歯科検診月実施以降随時実施												
	※検温・血圧測定 毎日実施												

② 利用者の診療科別受診状況

(単位:延べ人数)

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	5	2	7	4	7	7	10	6	4	2	3	4	61
外科						1	1		1	6	1	1	11
救急	4		1	2			2	1	1			2	13
整形外科	9	3	3	6	3	2	6	5	5	3	3	5	53
皮膚科	7	1	4	8	5	27	27	14	11	12	4	3	123
眼科	3	4	3	2	4	10	5	4	1	2	3	3	44
精神科	3	3	3	3	5	3	4	3	4	4	2	1	38
緩和ケア	1		1										2
心電図							1	1			3		5
エコー	1			1	2		1				1		6
レントゲン		1			2		3			1	1		8
CT・MRI			1		2	2		1			1	1	8
胃ろう 交換				1				1				1	3
合計	33	14	23	27	30	52	60	36	27	30	22	21	375

③ 利用者の入退院状況

(単位:人数)

受診科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院者	3	1	4	2	1	2	4	2		1		2	22
延入院者	3	1	4	2	1	2	4	2		1		2	22
入院延べ日数	69		42	40	12	71	63	52		1		33	383
救急車要請	3		4		1	2	4	2				2	18

④ 入居者疾病状況

(令和8年3月31日)

疾 病 名	人 数(前年比)	
糖尿病	21	(↓)
慢性腎不全	7	(↑)
高血圧	55	(↓)
脳梗塞・脳出血	24	(↑)
変形膝関節症	12	(↑)
誤嚥性肺炎	9	(↑)
心房細動	8	(↑)
パーキンソン病	5	(↑)
肺高血圧症	1	(↑)
悪性腫瘍	8	(↑)
精神疾患	9	(↑)
腹部大動脈瘤	2	(↑)
脊柱管狭窄症	6	(↑)
脊髄小脳変性症	1	(↑)
内分泌疾患	21	(↑)
自己免疫疾患	18	(↑)

疾 病 名	人 数(前年比)	
慢性心不全	16	(↑)
慢性気管支炎・喘息	7	(↑)
狭心症	14	(↑)
不整脈	10	(↑)
尿路感染	7	(↑)
深部静脈血栓	9	(↑)
腎盂腎炎	1	
前立腺肥大	4	
神経因性膀胱	2	
てんかん	7	(↑)
脊髄損傷	1	
廃用症候群	3	(↑)
脳疾患	13	(↑)
血液疾患	2	(↑)

⑤ 医療処置者 (令和8年3月31日時点)

処 置 内 容	人 数	
	R6	R7
胃ろう	1	1
インシュリン	1	0
尿管カテーテル	4	5
在宅酸素		1
ペースメーカー	3	2
吸入	2	2
吸引	2	0

⑥ 認知症内訳

(単位:人数)

脳血管障害	7
アルツハイマー型	28
レビー小体型	4
前頭側頭型	
その他・不詳	15

給食部門

1. 低栄養状態の予防・改善を図るために「栄養ケア計画書」を作成します。日々のミールラウンドやその他記録、聞き取りからの情報を基に、定期的に評価や見直しを行い「栄養ケアマネジメント」を実施します。
→ミールラウンド、多職種との連携によるモニタリングの実施、ご本人への意向確認、体重変動や採血結果を確認し、それらをもとに栄養ケア計画書を作成したうえで栄養改善が図れるよう対応しました。
2. 担当者会議への出席、委員会活動を通して多職種と情報を共有し、入居者様の情報を常に把握します。
→日々の活動を通して、食事場面の観察および介入においての各入居者様の摂食嚥下状態の情報共有を行い、食事内容や食事形態の検討を行いました。
3. 疾患のある入居者様には、嘱託医の指示のもと、その病態に応じた療養食を提供します。嘱託医からの特別な指示のあった入居者様には、約束食事箋を基に他入居者様とあまり変わらない食材で、適した食事提供に努めます。
→厨房委託業者と連携を図りながら、約束食事箋を基にそれぞれの疾患に合わせて適切な食事提供に努めました。
4. 気持ちよく、おいしく楽しく食事が摂れるように、入居者様の特性を考慮し、ユニットごとに食事環境を整えます。ゆっくりと食事を楽しんで頂けるよう、一人ひとりの食事ペースを尊重し、配慮します。
→ユニットごとの食空間づくりを行い、食事開始時間や喫食場所の調整など、一人ひとりに合わせた食事提供を行いました。
5. 看取り介護者様へ、最期までその方らしく穏やかな生活が送れるよう、ご本人やご家族の意向を踏まえて、可能な範囲で食支援を行います。
→看取り介護に携わるなかで、一人ひとりの生活歴や嗜好を尊重した食事提供が行えるよう関係職種と連携を強化し協力体制を整えました。

6. 年齢・性別・身体状況から算出された食事摂取基準を満たす献立になるよう給食委託業者と協力し、摂取量が低下している入居者様に対しては、栄養補助食品を取り入れるなど柔軟に対応します。

→年齢構成表から適正な栄養価を導き、厨房委託業者と提供栄養量の確認を行いました。個別対応として、食事摂取状況から食事量の調整や栄養補助食品の付加を提案し、一人ひとりに合った食事内容での提供を心掛けました。

7. 給食委託業者や多職種と連携・共同を図り、各種感染症や災害発生時にも柔軟に対応します。

→感染症発生時の対応を確認し、災害時の備蓄食材についても見直しを行い、情報共有を図りました。

【 行食事 ・ ライブキッチン(★) 】

実施月	献立	実施月	献立
4月	開所記念御膳 お花見膳 ★お花見団子	10月	十五夜献立 スポーツの日献立 ハロウィン献立 ★芋煮
5月	こどもの日献立 母の日御膳 ★こいのぼりクレープ	11月	★ホイル焼き
6月	入梅献立 父の日御膳 ★ピザ	12月	冬至献立 クリスマス 年越し膳 ★クリスマスケーキ
7月	七夕膳 土用の丑膳 ★金魚鉢ゼリー	1月	おせち 七草粥 青森ご当地 ★おしるこ
8月	沖縄ご当地 ★お好み焼き・焼きそば	2月	節分献立 バレンタイン献立 ★恵方巻
9月	長寿を祝う会 ★おはぎ	3月	ひな祭り献立 鹿児島ご当地 ★ぼたもち

【 食事形態一覧 】

令和8年3月31日現在

常食	刻み食	軟菜食	ソフト食	ペースト食	個別対応	経管栄養	合計
37	11	26	13	8	1	1	97

【 療養食一覧 】

令和8年3月31日現在

糖尿病食	心臓病食	腎臓病食	脂質異常症食	合計
3	6	0	1	10

リスクマネジメント委員会

《 入居者様の尊厳の保持・人格の尊重 》

1. 入居者様の尊厳を尊重し、安全・安心を確保するための基本的な体制を整えます。
 - 入居者様一人ひとりの意向を汲み取りながら、尊重したケアの実践を行い、安心できる環境づくりに取り組みました。
 - 職員間の情報共有を図り、ケアの統一に向け取り組みました。
2. 虐待の防止や不適切なケアの早期発見と迅速な対応に全力を尽くします。
 - ヒヤリハットやインシデント報告の提出を促進し、早期発見、早期対応に努めました。
 - 毎月の委員会で不適切ケアについて確認を行いました。発生はありませんでした。
3. 身体的および精神的に影響を与える恐れのある身体拘束は、原則として禁止します。
 - 身体拘束に関する理解の再確認を研修などで行い、各ユニットにおいてケアの検討を行いました。
 - 安全確保の観点からやむを得ず身体拘束事例がありました。実施にあたっては、三原則に照らし合わせて、必要性の検討を行い、ご家族も含めた多職種で協議し、必要な部分のみ行いました。カンファレンスや会議等で定期的な見直しや評価を行い、必要時のみ身体拘束を行っていました。

《 安全対策 》

1. 入居者様の人権と権利を重んじ、ご意向を汲み取った質の高い介護サービスの提供に努めます。
 - 日頃より、入居者様の行動制限や虐待、不適切なケアがないよう注意喚起し、安全な環境づくりに努めました。
2. 入居者様の自立支援を重視し、安全を確認しながら、可能な限り自立した生活をサポートします。
 - 自立支援を踏まえた関わりを持ち、日常生活の中で安心して過ごせる環境づくりに取り組むよう努めました。

【 令和 7 年度アクシデント発生件数 】

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
華	2	3	3	5	4	7	8	1	1	6	0	2	42
月	3	5	4	8	4	2	4	2	4	0	3	2	41
川	11	5	7	4	11	6	12	5	5	2	9	6	83
紅	4	5	5	7	3	4	4	5	8	9	4	5	63
笹	9	10	6	10	11	9	4	5	9	6	12	4	95
合計	29	28	25	34	33	28	32	18	27	23	28	19	324

→重大事故として仙台市へ報告したのは 6 件です。内訳として骨折事故が 6 件です。

この事故を受けて、リスクマネジメント委員も含めた職員と協議し、是正の周知と徹底を行っております。その後、同様の事故は発生しておりません。

3. インシデントやアクシデントの報告書を活用して、事故を未然に防止します。

→多職種共同で情報共有を図り、入居者様の状態把握に努め、サービス提供しております。加え、報告書を活用し、日々のケアに反映しております。

→発生したアクシデントやインシデントは、集計・分析し、発生因子を踏まえ予防・是正策を講じ同様の事故の防止に努めました。

→再発や重大事故につながる恐れがある事例や、同様の事故が起こる可能性が高い場合には、各専門職種が集まり事故検証し予防に努めております。

4. 苑内研修や実践的な教育訓練を行い、事故発生時に迅速かつ適切な対応ができるようにします。

→多くの職員が参加できるようにオンライン研修で内部研修を行っております。

※ 研修項目については、「研修委員会」の報告を参照。

＜ 防災 ＞

1. 非常災害や緊急時に備え、消防設備を充実させ、定期的に避難訓練を実施します。

→令和 7 年 10 月 16 日『総合防災訓練(日中想定)』を実施しました。

想定：14 時頃、大規模な地震が発生。これをきっかけに月 B ユニット介護準備室より出火。避難・通報・消火訓練を実施しました。また、メルタスを活用した、職員への緊急連絡網(一斉メール)も滞りなく実施できています。

※ 当日華ユニットは感染対応の為、後日改めて机上訓練行っております。

→令和7年11月19日、全体夜間想定防災訓練を実施しました。

想定:22時頃、大規模な地震が発生。これをきっかけに、厨房より出火。

避難・通報・消火訓練を実施しました。避難完了時間なども問題なく終了しております。メルタスを活用した、職員への緊急連絡網(一斉メール)も滞りなく実施できています。

※ 当日華ユニットは感染対応の為、後日改めて机上訓練行っております。

2. 災害発生を想定し、備蓄品の適切な管理と補充を行います。

→非常時に備え、備蓄品を追加・管理しております。

3. 事業継続計画を充実させ、防災設備の点検と安全対策の周知を徹底します。

→消火設備、避難設備、警報設備について定期的に巡回しております。

→日頃より避難誘導の障害となるようなものがあれば指摘し、改善しております。

→職員緊急連絡網、自衛消防隊は、適宜見直しを行い、周知しております。

《 衛生 》

1. 快適な住環境を提供するため、厳密な衛生管理を実施します。

→各フロア、毎月の巡回を行い、不備の改善をしております。また、エアコン等の稼働にて快適な住環境を確保しました。

→日々の清掃に加え、各居室の設備や車椅子等の福祉用具など定期的に清掃を実施し、環境衛生に努めました。

2. 日頃より感染症の予防対策を講じ、健康危機事例の発生を抑制します。

→入居者様、ご家族、職員の感染予防対策(検温、体調確認、マスクの着用、手洗いうがい、行動報告など)を徹底しました。

→体調を崩された方が出た場合には、緊急連絡先に連絡させていただき、早期に医療機関等に繋げました。

→入居者様の健康観察における症状の有無確認、居住空間の換気や室温管理等を行いました。

3. 健康危機が発生した場合には、迅速かつ適切な対応を行い、健康被害の拡大を防ぐために多職種連携して対応します。

→今年度、感染症の発生があり、感染対策委員会を中心に連携を図り、早期終息に向けて、職員へ周知、対応を行っております。

サービス向上委員会

『介護技術や知識の水準向上と職員の専門性を継続的に高め、質の高い人材育成の強化に努めます』

《サービス向上》

1. 日頃からの意向確認、お客様満足度調査、事業所評価等多角的な視点でニーズを把握し、改善・向上に繋がります。
→メルタスやグーグルフォーム等を活用し、ニーズに応じたアンケートの収集方法を検討、実施しました。お客様満足度調査、アンケート調査を実施し、入居者様やご家族の意見を確認し、周知、改善に努めました。
2. 職員ニーズを把握し、「働きやすい職場づくり」に繋がる活動の企画、実施を進めます。
→事業所評価では、自らのサービスについて振り返り、改善へ繋がられるよう各部門へ情報提供をし、改善につなげました。
3. 地域のニーズに沿った活動の推進を図ります。
→地域の行事に参加し、活動できる場所の提供に努めました。

【 お客様満足度調査 R7.8・9月実施 R7.11月開示 】

	入居者様	ご家族
配布数	100	100
回答人数	89 名	14 名

【 事業所評価 R7.1 実施 R7.3 開示 】

	職員
回答人数	47 名

《 行事・余暇 》

1. 各ユニットにクラブ活動等の取り組みを進め、全体での行事も企画しながら、入居者様の楽しみや生きがいのある暮らしを目指します。
→他部署との協力を得ながらユニット毎にイベントを実施しました。多くの入居者様の QOL の向上、楽しみにつなげられるようご意向を確認し、また季節感の感じられるようなものを取り入れ企画、実施しました。全体では長寿を祝う会を実施し、ご家族様と一緒に祝いし過ごせるよう企画、実施しました。
2. 茂庭台地域のお祭りや文化祭などに参加して、地域の皆様と交流を図り、地域に根差した活動も実施してまいります。
→茂庭台の祭りや、市民文化祭の開催の準備を地域の方々と行い、出品しました。文化祭当日も入居者様と参加し、交流に努めました。

《 広報・地域交流 》

1. ホームページや広報誌を活用しながら、第二茂庭苑の日常の様子や行事、各取り組みなどの情報発信を進めます。地域の皆様から興味をもたれ、自分も入居したいと思われるような施設を目指します。
→外部への PR を目的として、広報誌『年輪』を茂庭苑と共同制作し、年2回発行しました。
→ホームページ内の「ブログ」にて、随時情報発信を進めました。
→メルタスを活用したご家族との情報交換を適宜実施しました。

《 苦情 》

1. 様々なツールを活用して、より多くの入居者様やご家族のお気持ち、ご意向などを確認しながら、施設運営の改善を目指してまいります。
→メルタス、グーグルフォーム等を活用したご意向確認や、満足度調査の実施を行い、入居者様、ご家族のご意見を確認し、周知、改善に努めております。
→委員会内、各ユニットでもご意見の確認を行い、情報共有に努め、より良いサービス提供につながるよう努めております。

【 苦情件数 】

→施設サービスについて 0 件

給食委員会

1. 安心安全でおいしく心のこもった食事を提供します。栄養状態の維持と同時に精神面からも満足でき、心に潤いを与える食事作りを目標とします。食事から生活の質を高められるよう取り組みます。

→ユニット調理にて、炊飯される匂いや盛り付けている様子を見ていただくことで、五感で食事を味わっていただきました。落ち着いた環境で食事を摂っていただけるような食空間づくりを意識しました。

2. 入居者様の嗜好については、栄養ケアマネジメントにて得る情報や残食記録、嗜好調査の結果にて把握し、身体状況に応じた食事提供に努めます。また、共通の好みをできるだけ多く献立に取り入れ、食事が楽しみになる工夫をします。

→嗜好調査や残食記録、日々の聞き取りから状態把握に努め、改善点を検討し、献立に反映しました。

【嗜好調査】

期間	令和7年8月15日～令和7年9月15日
入居者数	99名(男性:23名、女性:76名)
回答数	88名(男性:21名、女性:67名)

3. ライブキッチンや調理企画などを実施し、視覚や味覚等五感を刺激し、喫食率アップと満足度の向上に繋がります。行事食については、入居者様の嗜好に配慮したものとし、献立・調理がマンネリ化しないよう、四季の味覚を取り入れ、季節感のある食事を提供します。

→ライブキッチンを月1回以上実施し、行事食にも工夫を凝らし全ての食事形態で楽しんでいただけるよう検討しました。

4. 適時適温給食の提供を実施します。材料の選択・調理の方法・味付け・盛り付け・適時適温などを心掛けます。

→衛生管理の整った厨房設備と徹底した温度管理により、食中毒などの危険を回避し、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供し、安全で美味しい食事を提供することを心掛けました。

5. 給食委託業者と月1回給食委員会を開催し、より良い食事を提供するために、検食の評価や入居者様の声などフロアから提案される食事に関する事柄を取りまとめ、食材や改善点などを検討します。

→日々の食事内容を確認し、意見を出し合い、より良い食事提供につなげました。残食量や検食簿の意見を反映し献立内容の調整を行いました。

6. 食事イメージの共有及びタイムリーな情報を発信するため、積極的にブログを活用します。

→日常のお食事や行事食、ライブキッチンの様子をタイムリーに発信しました。

研修委員会

『介護技術や知識の水準向上と職員の専門性を継続的に高め、質の高い人材育成の強化に努めます』

1. 実務に即した、効果的な研修を提供し、入居者様の状態に合わせた質の高い介護サービスが提供できる人材を育成します。

→研修で得た知識や技術を現場で活かし、入居者様へのサービス提供につなげ、人材の育成に努めました。

2. 様々なツールを活用し、介護技術や高度な福祉技能、最新の介護情報などを提供し、課題解決となる技術の向上や業務の効率化、職員の専門性を常に高めます。

→ほとんどの研修で、対象職員の 2/3 以上の職員が受講しており、職員個々の専門性を高め、成長に繋がっています。

令和 7 年 度 第 二 茂 庭 苑 研 修 実 績

月	日	研修内容	対象職員	担当者	受講人数
4		倫理・法令遵守、接遇に関する研修	看・介・事	Dスタ	57人
5		高齢者虐待の防止、身体拘束等の適正化の為の研修（1）	看・介・事	Dスタ	56人
	21	コロナシミュレーション	看・介	看護	27人
6		感染症、食中毒の予防、まん延の防止に関する研修（1）	看・介・事	Dスタ	52人
		医療に関する教育・研修	看・介・事	Dスタ	52人
7		認知症及び認知症ケアに関する研修	看・介	Dスタ	52人
		プライバシーの保護に関する研修	看・介・事	Dスタ	52人
8		事故発生の防止のための研修（1）	看・介	Dスタ	52人
9		事故の発生などの緊急時の対応に関する研修	看・介・事	Dスタ	54人
	17	リスクマネジメント異常の早期発見	看・介	リスク委員	27人
	24	食事と摂食嚥下に関わる介護の基本	看・介	黒田ST	19人
10		非常災害時の対応に関する研修	看・介・事	Dスタ	46人
11		高齢者虐待の防止、身体拘束等の適正化の為の研修（2）	看・介・事	Dスタ	57人
12		感染症、食中毒の予防、まん延の防止に関する研修（2）	看・介・事	Dスタ	57人
1		介護予防、要介護度進行予防、褥瘡対策に関する研修	看・介・事	Dスタ	49人
2		ハラスメント防止に係る研修	看・介・事	Dスタ	57人
		ターミナルケア、精神的ケアに関する研修	看・介・事	Dスタ	55人
3	31	感染症シミュレーション	看・介・事	看護	40人